

公開質問状

2024年6月24日

谷口さとし

Q1 2期8年間の小池都政についてどのように評価をしているか？100点中何点か、またその理由について教えてください。

評価点 65点

理由：石原都知事から猪瀬知事に交代してから、都政は混乱した。豊洲移転など江東区民として不信感を抱くこともあったが、安定した都政を運営していたと認識している。

また、子育て政策は私の周りの子育て世代からは高評価。

ただし、わたしが政策の要に掲げている教育改革の分野や、入園状況の改善は認めるが、待機児童0についてもカウントの取り方に疑問を感じる。

Q2 何故東京都議会への出馬を決意したのかその理由を教えてください。

長文になりますが、都庁での記者会見で述べたことを書かせていただきます。

私は幼い頃から「政治家のいる家庭」で育ちました。かといって、幼少の頃から政治の道を明確に志していたわけではありません。

高校では不登校になり転校もしました。両親には心配をかけました。そんな折、ただ何の目的もなく大学受験することに違和感を覚え、高校卒業後は就職の道を選びました。

そこで社内のほとんどの若手社員が選挙にいったことが無いと知り、若者の政治への無関心さと諦めを目の当たりにしました。このままではいけない、自分が架け橋となって、これからの世代の閉塞感を打破しなければいけないと思いました。

そう思い私は政治家を志しました。

同時に、より政治を学問として学びたくなり大学進学を決意し、一般入試を経て、令和4年4月より現在法政大学に籍を置いています。そんな中、私がなぜ都議会への決意を固めたか申し上げます。江東区は人口が非常に増えてきている街で、特に湾岸地域の発展は著しいです。この湾岸エリア、特に港湾部は都の管轄する場所が多いです。そのため江東区の発展のためにも、区民の思いをしっかりと吸い取って都政に反映させていくこと

が重要と考えます。

また、私は25歳です。繰り返しになるところもありますが、そんな私が都議補選を決意したか申し上げさせてください。

若者、バカ者、よそ者こそがイノベーションを生み出すとよく言われています。

まさに今の都政には20代の声が圧倒的に足りません。若者の思いを伝えられる議員が都議会に必要です。

私はこれまでの政治の「論理」や政治家の在り方に疑問があります。議会の当たり前に疑問を持つバカ者です。

しかし議会の論理や政治家の当たり前が、世間の非常識だったりします。

おかしいものを「おかしい」と指摘できる、勇気ある「バカ者」でありたい。

若い世代は、なれあい政治の「よそ者」です。

だからこそ、私は新鮮な風を都政に起こして、政治を変えていける人材だと自負しております。だから、私は都政を目指すのです。

Q3 政策の中で最も重視する内容を具体的に教えてください。

こちらの問いも都庁での記者会見で申し述べたことから失礼します。

それは教育格差の是正です。

現在日本では教育格差の拡大が非常に問題になっています。この問題を解決するために二つの提案があります。一つ目は内申点制度の改革です。現在の都立高入試は学校の通知表の成績と本試験を合算して点数を出す受験方式です。しかしこの通知表の成績は江東区内の中学校を見ても平均値に大きく差があり、公平性が担保されていないように感じます。また、現行の制度ではこれからの社会で必要となってくる「主体性」や「創造力」を育むことが難しいと考えます。そこで私が提案したいのが、学外の社会教育への参加を内申点の加点対象にするという制度です。

私は現在大学で社会教育を専攻しています。

その中で社会教育が閉塞的な生活を送っている人々や、貧困で負い目を感じ社会から疎遠になっている人々を救済したり参加を通じて新たな知見を生み出し、それがまた新たな社会教育を生み出す様子を学んできました。

社会教育による地域との結びつきによって、子供たち自身が外の社会と触れ合うことで主体性を学べる環境を作ることができます。

それと同時に近年高齢化が進んでいる地域団体を再度活性化することができると私は考えております。

2つ目は学校の事務員の増員です。

これにより、教員の事務作業の軽減ができ、長年問題視されている教員のサービス残業の解消が見込めます。

また、事務作業に費やしていた時間を授業作成に充てることができます。これにより負のスパイラルを断ち切り公教育の質をボトムアップできます。

Q4 住宅状況がひっ迫している中、都営住宅に多くの外国人が居住しております。まず日本人が優先的に利用できるようにするべきだと考えますが、貴職のお考えを教えてください。

答：どちらとも言えない（やや反対）

少子化が日本全体で進んでいるので都営住宅は子育て世代を優遇すべき。地方自治体として子育て世代の収入をすぐにあげることは出来ないので支出を減らす政策を打ち出すべきだ。

ただ、外国籍の方も都民であるので一律して反対することは現実的でないと思う。

Q5 一部の都営住宅で民泊が行われているという情報があります。今後の対応について教えてください。

答：反対

都営住宅が低廉な家賃なのは住宅に困る低収入の方へのセーフティーネットの役割を持つからです。民泊はその意義に反すると考えます。だから反対です。

Q6 朝鮮学校を無償化に含めるように要望がありますが、賛否及びその理由を教えてください。

答：反対（北朝鮮との関係を慎重に調査すべき）

まず、あらかじめ申し上げたいのは朝鮮学校に通う児童やその保護者に対する差別意識はございません。民族教育の必要性も理解しています。

ただし、文科省の資料をはじめ朝鮮学校は北朝鮮・朝鮮総連との関係性が指摘されています。事実として日本人拉致に関わった人物に朝鮮学校の校長を務めていた人物がいるなど、いまだ拉致問題が解決しない中、学校以外の側面を持つ朝鮮学校への公金支出は極めて慎重になるべきと考えます。

Q7 住民からの情報開示請求に対し、多くの部分を黒塗りしている東京都の情報公開の姿勢についてどのようにお考えか教えてください。

一丁目一番地と掲げていた「都政の見える化」は実現したとは言えないと思います。一部の機密にかかわる事項や一般職員の個人情報塗られるのは仕方ありませんが、情報開示

請求制度自体が問われています。

Q8 江東区内には都有未利用地が多くあるとお聞きしました。具体的にどのように活用を求めていくか教えてください。

江東区は人口が非常に増えてきている街。特に湾岸地域の発展は著しものがあります。そんな港湾地域は都の管轄する場所が非常に多くあります。たとえば特別養護老人ホーム・特別支援学校など既存の施設ではキャパシティが足りておらず、「作ってほしい」という区民の要望があります。江東区の発展のためにも、区民・地域住民の思いをしっかりと吸い取ったうえで都知事や当局に提案していきたい。

Q9 東京都では外国人へ生活保護支給を支給しておりますが、最高裁判決でも、外国人は生活保護の対象にはならないと判決が出ております。外国人への生活保護を今後も続けていくのか、またその理由について教えてください。

答：どちらともいえない（慎重を期すべき）

傷病によって一時的に働けなくなる方への支給には反対していません。

ただし、厚労省の局長通知が主たる生活保護認定の根拠となっている点、問いにある通り、最高裁判決が出ているほか今年も千葉地裁でガーナ人の方の申請が却下されています。

近年は外国人の方の申請が増えておりますが、生存権保障の責任は第一義的にはその者の属する国家が負うべきです。都知事を通じた外国公館への問い合わせなど在外外国人の公正な管理事務に協力するため入管に連絡するなど、適正、厳格に対応すべきです。

Q10 外国人が国民健康保険に加入し、日本で医療を受けて帰国するという事例が多数報告されています。実質的に日本国民が外国人の医療費を負担している事になりますが、この問題についてどのようにお考えか教えてください。

答：反対

平成 30 年の NHK クローズアップ現代で「日本の保険証が狙われる ～外国人急増の陰で～」などが報じられるまでこの問題を意識したことはありませんでした。破綻する前に高額医療などを中心に国民健康保険適用を厳格化すべきです。

Q11 江東区は外国人人口都内 3 位、中国人に限っては都内最多（約 17,000 人）となっております。外国人参政権についてどのようにお考えか教えてください。

答：反対

国民主権に反するので反対です。

外国人の方々も税金を納めていますが日々生活で、地域で行政サービス・インフラに使っているのですそこに対する納税とも考えられます。すぐさま、参政権付与に直結するとは思

えません。そのロジックだと日本人でも非課税世帯からは参政権を取り上げることも可能になってしまいます。議会設立から戦争を経て普通選挙を勝ち取った先人たちの思いを振り返るべきです。

Q12 過去または現在、統一教会と関係があるか。ある場合は今後どうするか教えてください。

ありません。今回の都議補選にあたりあらゆる政党・宗教からの支援を断ち、挑戦しています。業界との「しがらみ」から、地域住民との「繋がり」を目指しています。

Q13 豊洲において大型トラックが大量に駐車し、休憩所代わりに使われているという声があります。この問題についてどのように対応するか教えてください。

物流業界とも連携し、休憩所になるような道の駅（PA）の建設の検討など路駐による交通問題の解消にあたります。また、物流業界に明るくないので改めて実情を伺い、都知事に対して全国の範になるような都独自の物流支援を求めます。

Q14 有権者へ伝えたいことを教えてください。

政治を諦めないでください。選挙に行かないのも民主主義の選択ですがそのままでは投票に行く一部の方々の意見ばかりが反映される政治がずっと続きます。わたしは「完全無所属」で挑戦中です。Q12でもお答えしましたが、業界との繋がりや政治家との距離で受けられる行政サービスが変わるのはおかしいと思っています。私は皆様との繋がり・対話を基調に江東区と東京都の橋渡しになりたいと思っています。7月7日が投票日です。